

情報工学部知能情報工学科 教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

（１）知識・理解

【専門基礎知識・理解】

自然科学系科目、情報科目を設置し、技術者に必要な基礎学力を習得させる教育を実施するとともに、対象分野科目を設置して知能情報工学専門分野の知識を修得させる教育を実施する。情報科目については、国内外の学会等が提供する情報専門学科の標準カリキュラムに準拠した教育を実施する。

【多様な文化等の知識・理解】

多様な価値観・伝統・制度を持った社会及び文化に関して深く理解できるように、人文社会系科目の教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

科学・技術が社会で果たす役割を理解できるように、人間情報科目の教育を実施する。

（２）汎用的技能

【基礎的な問題解決スキル】

問題解決に必要な観察能力、論理的思考力、分析力、説明能力を向上させるために、工学専門分野の題材を用いた実験演習科目の教育を実施する。

【コミュニケーションスキル】

背景や文脈を理解して適切に説明できる日本語能力を修得させるため、様々な形でプレゼンテーションスキルを養う機会を設けて教育を実施する。また、外国語によるコミュニケーションのための基本的能力を修得させるため、言語系科目の教育を実施する。

（３）態度・志向性

【技術者の基本的態度・志向】

科学・技術が社会に及ぼす影響を洞察して行動できる技術者としての倫理観と責任感を備えさせるために技術者倫理に関する教育を実施するとともに、社会に貢献する志を育むために講演会や企業実習などの機会を設ける。

【自律性とチームワーク志向】

人々と協調でき、自己管理ができ、自発的な活動ができる能力をバランスよく伸ばすための教育を実施する。

【自律性とチームワーク志向】

人々と協調しながら自己を伸ばすことを自発的に行なうことができるように教育を実施する。